



気がつけば、1999年も残りわずかになりました。今年こそはと思いながら、日常の雑務に追われ、また1年が過ぎてしまったという方も多いのではないのでしょうか。

さまざまな形で医療の質が問われる時代になり、その一つの基準として、「図書室の機能」が評価される機会が増えています。今号の特集で取り上げた「病院機能評価」もその一つでしょう。

しかし現実には、まだまだ図書室は縁の下の力持ち的存在で、院内においてすら（院内だからこそ？）その役割が十分に理解されている事は少ないと思います。恥ずかしながら当院では、未だに「図書室なんてあったんですね」と驚かれる事があります。

山のような業務に囲まれて一人でがんばっていると、時として、周りが見えなくなる事があると思います。そんな時は少し離れて、客観的に自分の図書室を評価してみると良いかもしれません。他者の目で見ないと分からない事もあるでしょう。それから業務に戻れば、きっと新たな「目標」が見つかるはずです。

（春日井泉江）

---

病院図書室 第19巻 第3号

季刊

1999年8月31日 発行

定価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒612-0861 京都市伏見区深草向畑町1-1 国立京都病院図書室 気付

TEL (075) 641-9161 FAX (075) 643-4325

印刷所 (株)小西印刷所 〒663-8225 西宮市今津西浜町2-60

TEL (0798) 35-1331 FAX (0798) 35-1333

---